

審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針について

まちづくり局

評価実施事業	「登戸土地区画整理事業」【再評価】
所管課	まちづくり局登戸区画整理事務所
審 議 結 果	
<p>●評価結果及び事業をめぐる社会経済状況等を勘案し、再評価の対応方針（案）については妥当と判断</p> <p>【附帯意見】</p> <p>●本事業は、市の地域生活拠点である登戸・向ヶ丘遊園駅周辺地区の基幹的な事業であり、関係権利者も多く、それらの方々の生活に与える影響も大きいことから、引き続き、事業費の縮減方策の検討を行いながら、計画期間内の事業完了に向けて着実に事業を推進することを望む。</p> <p>●駅周辺の様々な業態の店舗に関する実態把握の難しさや、事業推進による地域の状況変化、事業期間中の社会情勢の変化等により、事業費の正確な積算が難しいことは一定の理解ができるが、できる限り早い段階から正確に事業費を積算できるような工夫を行うとともに、事業費が上昇する可能性も十分に考慮しておく必要があったと考える。今回、総事業費の見直しを行ったことについては、その理由等について、引き続き丁寧に説明を行っていくことを望む。</p> <p>●集団移転により事業を推進したエリアにおいて、住民主体でまちづくりの方針を策定する等、まちづくりの機運も高まっていることから、よりよい地域生活拠点の形成に向けて、引き続き、住民主体のまちづくりの取組を促していくことを望む。</p>	
審議結果を踏まえた今後の取組・対応方針	
<p>●本事業につきましては、計画期間内の事業完了に向け、事業推進に効果的な集団移転を活用しながら、着実に事業を推進するとともに、事業費の縮減が図られるよう、権利者の営業等が途切れることに伴う中断補償費を最小限に抑えられる事業展開の検討や工程管理を行うなど、創意工夫を重ね、引き続き取り組んでまいります。</p> <p>●駅周辺の様々な業態の店舗に対する移転補償費の積算に当たっては、これまで以上に、対象となる店舗の特徴を正確に捉えるよう努めるとともに、近年の商業集積エリアの移転補償実績を基に、業態を細分化し、想定される補償費を算出するなど、より正確な費用の積算に努めてまいります。また、総事業費の見直しとその理由につきましては、今後も事業計画変更の手続きを行う過程等で、丁寧な説明を行ってまいります。</p> <p>●集団移転により事業を推進したエリアを含め、施行地区内につきましては、登戸土地区画整理事業土地利用計画図（地区別方針図）に示すまちづくりの方針に従い、本市の地域生活拠点及び多摩区の玄関口として、商業、業務、住宅等の機能を有する複合的で、健全な市街地環境の計画的な形成を図るため、それぞれのエリアの特性に応じて、適切かつ良好な土地利用が図られるよう、引き続き、まちづくりを推進・誘導してまいります。このうち、より一層の魅力と賑わいの創出が必要となる駅前などの商業集積エリアにつきましては、新たなまちの将来イメージを共有し、今後、住民が主体となったまちづくりが円滑に進むよう、勉強会を開催するなど、積極的にその取組を促し、支援してまいります。</p>	